

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称 鹿川ターミナル株式会社
- (2) 事業所の所在地 広島県江田島市能美町鹿川3-1-5
- (3) 業種 倉庫業 4711

2 計画の期間

平成20(2008)年度を基準年度とし、平成27年(2015)年度から平成31(2020)年度 までの5年間としている。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： タンク放熱面積 (a₁㎡)

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a) 平成20年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成31年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成27年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	18.89	15.13 19.9%	10.69 43.4%				
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素	0.0013	0.0010 23.1%	0.00072 44.6%				
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	18.89	15.13 19.9%	10.69 43.4%				
エネルギー消費 原単位 (原油換算 kl)	6.81	5.46 19.8%	3.85 43.5%				
実績に対する 自己評価	平成27年度は、平成26年度と比べて加温タンクが2基稼働増となりエネルギー消費原単位が前年度比0.0269増となったが、平成26年度と稼働率が同じだったと仮定してシミュレーションしたところ、原単位3.7538と算出が出来ることから、年1.83%の省エネ効果があったものと推察出来る。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	原単位0.022 (0.57%) 削減 燃料使用量 173KL削減	・浮き屋根がブルックの保温取付によるボイラ燃料 (C重油) 消費削減。 TA-103タンク (H27.4月～運用)
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	その他	特に定めず	構内山林への植樹
2	その他	年間20千kW 年間13tCO ₂ 削減	太陽光発電システム H27年度実績 21.653千kW

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。